

第12回 支部代表者会議 開催さる



81.5.28
No. 750

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五ノ六・公衆電話(22)七二〇七

組織強化・拡大6月総決起行動を確認

五月二六日一三時、動力車会館において全支部委員長の出席をえて第一二回支部代表者会議が開催された。会議は、ライシャワー元駐日大使による日本への核持ちこみの暴露をはじめとする、日米共同声明を機に、戦争と反動攻撃の激化、それに対決すべき労働運動が日々右傾化・産報化に傾斜する中において、三月ジェット決戦をうちぬき新たな労働運動の高揚の突破口を築いたわが動労千葉がいかなる闘いをすべきなのかを真剣に討議した。さらに権力・当局によるわが動労千葉への解雇四名・停職七名をはじめとする二二五名への大量不当処分攻撃を「動労千葉解体の絶好のチャンス」とばかりに絶望的な組織破壊策動に出てきた動労「本部」反動分子を一時たりとも許さない闘いを大衆的決起をもって実現することを確認決定した。

軍事大国化・改憲・核武装化を許すな

第一二回支部代で提起された情勢と具体的取り組みは次の通りである。

三月ジェット決戦ストをうちぬき、反処分闘争を勝利的に貫徹した以降の、われわれをとりまく政治情勢は、一言でいうならばただならぬ戦争と反動の時代へと突入しつづつあるといえる。

五月八日発表されたレーガン・鈴木会談による日米共同声明は、日露戦争のための日英同盟・太平洋戦争のための日独伊三国同盟をひきつづぐものとして公然と「日米同盟」をうち出し、軍事同盟として世界に宣言し、日本帝国主義が軍事大国化への全面的エスカレーションにのりだしたといえる。しかもこれを機に日本海での対ソ挑発的な日米共同軍事演習を強行し、はえなわ漁網を切断するとう「戦争のためなら人民は死ぬ」とばかりの傍若無人のふるまいを行った。

さらにライシャワー発言に対して、鈴木自民党内閣は一定の困惑したポーズをとりながら、その実「核持ちこみ」について既成事実としてわれわれに押しつけんとしている。この本質こそ軍事大国化・改憲攻撃の一環として核武装化を計らんとするすさまじい攻撃であるのだ。

このような鈴木自民党内閣による反動攻勢は、同時に労働運動を解体し、労働者の権利はもとより、経済的要求すらも圧殺せんと攻撃をしかけてきている。

仲裁々定を一括議決案件として、賃上げを行政改革や公務員二法(一定年制導入、退職金・年金削減)の成立を認めないかぎり完全実施しないという極めて反動的な攻撃をしかけてきている。さらに国鉄においては民託化・合理化(ヤード入換・駅・検修)を強め、マル生以前、あるいは六〇年安保以前に労働条件・労使関係を押し戻さんとし

ている。

この攻撃に早く屈服し、当局の合理化の尖兵・武装親衛隊に転落したのが「本部」反動分子である。かかるなかにあつて全国の心ある労働者は、闘う指導と質をもとめて流動化し、活性化し動労千葉の闘いにつづけと新たな高揚をつくり出している。

組織強化・拡大6月総決起を!

- 前述した情勢にふまえ、六月を大衆的総決起の月と設定し、次の取り組みを決定した。
- 一 六月総決起行動をもって「本部」反動分子との組織争闘戦の最終的な決着をつけるべく全力を傾注する。
 - 二 三五万人体制粉碎へむけて、反合・運転保安闘争を中心とした職場闘争の強化をつくりだす。
 - 三 憲法改悪阻止・徴兵反対・安保廃棄六・六全国集会に全力で取り組む。
 - 四 三里塚二期工事阻止闘争の一環として芝山町長選の立候補者・反対同盟石井新二氏を組織推選候補として支援行動を取り組む。
 - 五 「支援基金」と全国オルグの取り組みをより強化する。



二期阻止をかけて町長選に立った「反対同盟青年隊、現芝山町議」
石井新二氏(34才)

眞行寺反動町政は国・県に追随し、南港後芝山が空港公害に悩まされているのちかえりみず、自分の私利私欲のために芝山町と芝山町民を公団

▲投票日16月7日
に走りぬたぞうとして。芝山町に一人でも多く二期工事反対の声をつくりだすため、この町長選を二期阻止の前哨戦としてたたかう。(説)